

きりつせいちょうせつしょうがい 起立性調節障害を ご存知ですか？

🏠 西条中央病院 小児科外来

☎ 0897-56-0300（代表）

🕒 検査は月～土の午前中に行います

起立性調節障害の新しい検査「新起立試験」を当院は実施しています

➤ 起立性調節障害（OD）とはどんな病気ですか？

自律神経の働きが悪くなり、起立時に身体や脳への血流が低下する病気です。朝起き不良、倦怠感、頭痛、立ちくらみなどの症状がおこります。症状は午前中に強く、午後からは回復します。

➤ なぜ起こるのでしょうか？

脳の自律神経中枢の機能が悪くなり、交感神経と副交感神経のバランスが崩れて様々な症状が出現します。また、遺伝的体質や精神的ストレスに大きく影響を受けます。

➤ なりやすい年齢や性別、原因はありますか？

小学校高学年から多くなり、中学生で急増します。女子は男子より2割ほど多く見られます。最近、急激に増えている病気で、中等症以上の約半数に不登校を合併します。原因ははっきりしていませんが、現代の夜型社会や複雑化した心理社会的ストレスが背景にあると言われています。

➤ どうやって診断するのですか？

まずは、基礎疾患（OD以外の病気がないかどうか）を血液検査や画像検査などで詳しく調べます。基礎疾患がなければ、「新起立試験」を行います。

➤ 新起立試験はどのように行うのですか？

あお向けで10分間安静になり、血圧を測ります。その後、起立と同時に時間を測定しながら、血圧が回復する時間や脈拍が上昇する時間を記録します。その結果からODかどうか診断されます。

症状に悩んでいるお子さんがいれば、お気軽にご相談ください